

第16回中海会議【概要】

日時：令和7年11月17日（月）
午前10時30分～11時45分
会場：ホテル白鳥 3階 凤凰の間

【議事1】中海会議の要綱改正（案）について（説明：島根県政策企画局長）

資料1により説明

⇒質問・意見なし

【議事2】部会からの報告事項

（1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明：国交省出雲河川事務所長）

資料2により説明

○米子市長

今年度完了予定とされている灘町、内町地区の工事を確実に完了いただくとともに、気象条件の変化等を踏まえ、計画は必要に応じて柔軟に見直していただきたい。

くぼ地の埋め戻しは画期的な決定だが、単に埋め戻すだけでなく、埋め戻し前後の水質への影響も事前にシミュレーションなどしていただき、他のくぼ地の埋め戻しにも活かせる知見が得られるようにしていただきたい。

⇒ 出雲河川事務所長

- ・中の島では中州の掘削という特殊な状況であるが、掘削土の土質、処分場所などの様々な条件が整い、両県の協力・調整も得て今回の対応が実現した。
- 埋め戻しを実施した後には効果も含めてモニタリング等で確認していく考えであり、工事完了後に報告できればと思っている。
- ・湖岸堤整備に関しては、引き続き、河川整備計画に基づいて素々と進めていく。

○松江市長

中期整備箇所である大海崎地区は、令和11年に開催を予定しているホーランエンヤの五大地であり、10年に一度の大祭に支障がないように早期の完成をお願いする。

排水樋門の操作については、今年度からフラップゲートを国直営とするなど配慮いただき感謝しているが、人材確保が難しい状況に変わりなく、市職員による直営箇所もある。引き続き、自動化や遠隔化、無動力化などの省力化を進めていただきたい。

⇒ 出雲河川事務所長

- ・大海崎地区は次期ホーランエンヤまでに大祭に關係する船溜まり箇所は完成させる予定であり、早期完成を目指し進めている。
- ・斐伊川水系に限らず、操作員の人手不足が生じているので、DXの取組も含めて、省力化、無動力化、遠隔化等を進めていく。

○境港市長

境港市では短期、短中期整備箇所の整備を進められており、これに続く形で、空港北（境港市佐斐神町）の中長期整備箇所にも早急に着手いただきたい。

大橋川改修における環境保全措置と同様に、中海側も浅場造成を行い、自然浄化対策に注力いただきたい。また、過去に国が水質の浄化効果を検証されていた、中国電力のHiビーズを使用した埋め戻しも早く実施いただきたい。

⇒ 出雲河川事務所長

- ・飛行場周辺の整備も検討を進めており、防衛省との協議も含め、早めに準備して事業を進めていきたい。
- ・中海全体を浄化できる適地があれば、引き続き自然再生のために浅場造成も進めていきたい。Hiビーズによりくぼ地の覆砂を実施しても中海全体への効果は限定的

であることから、浅場造成事業での使用に切り替わっているが、引き続き、現在計画しているくぼ地を埋めた後にどういう対応をしていくかを含めて、検討は進めていきたい。

⇒ 鳥取県知事

- ・中海地域は過去の干拓事業により水質が悪化した歴史があり、干拓事業の際に生じたくぼ地の埋め戻しは中海の歴史としてはターニングポイントだと思う。
- ・水質への影響度という毎年のフローだけでなく、ストックの観点から過去の形状変更による水質悪化の影響を分析して、それをどう取り戻すかということも考えていかなければ根本的な解決にはならない。

⇒ 島根県知事

- ・くぼ地構造を変えない覆砂と埋め戻しは大きく中身が違い、その意味で画期的だと思うが、今回の埋め戻しは中の島という特殊な状況で発生する掘削土を経済的に処理するために行われるものであり、どこでも発生する状況とは限らないため、今後の予定は話し難いものと理解している。
- ・米子市から話のあったシミュレーションを国交省に求めるのは厳しい気がするので、今の調査箇所の変化を見ていくのか、埋め戻し箇所近隣で前後比較するか、どちらの方法を取るかは水質・流動部会の検討事項かと思う。

(2) 中海の水質及び流動会議 (説明：島根県環境政策課管理監)

資料3により説明

○米子市長

新たな評価指標の検討に向けた調査の狙い・ポイントを教えていただきたい。米子湾は水の流れが乏しく、対策は難しいと思うが、どの数値を改善すればよいかを教えてもらい、できるところがあれば協力していきたい。

⇒ 島根県環境政策課管理監

- ・流入負荷をいかに減らしていくかを考えており、下水道等も整備が進んできているが、さらなる高度処理といったこともやっていかなければならないと考えている。
- ・米子湾は閉鎖性があり、水質を一朝一夕に改善するのは難しいと思うが、各種のシミュレーション等を通して対策を検討していく。

【議事3】その他

○中国地方整備局長

豊かな中海は環境基準の達成だけでは実現できない部分もあり、浅場造成などが役に立てる点があると思う。この会議ではそういうものを引き続き追及して、必要なモニタリングや、水質改善に関する指標のまとめなどをしていくものと感じた。

⇒ 島根県知事

- ・水質関係の数値を追うだけでなく、豊かな自然環境を実感できる中海であってほしいという思いから、親水空間や浅場造成、ワイルドユーズなど、湖岸堤の整備以外にもお願いをさせていただいている。数値と実感の両立を目指していきたい。

○米子市長

沿岸に住む私たちが、きれいになったと実感できる一つは透明度が良くなることだと思うが、どうしたら良いのか難しい。これは参考意見として申し上げる。

○境港市長

藻場の浅場造成は魚の増加につながり、漁師の皆さん非常に喜ぶ。そこをしっかりと押さえて、豊かな中海をつくりていただきたい。

米子湾のほうは、くぼ地によるものと思われる硫化水素によって今いる魚が死んでしま

う状況もあるので、自然浄化にも取り組んでいただきたい。

○鳥取県知事

豊かな中海を求めるのは、我々のテーマである。

ワイルズユーズや水産関係のワーキンググループはなくなったが、両県では今後も協調して取り組んでいくので、各省庁にも協力をいただきたい。